

bauma CONEXPO INDIA

bauma CONEXPO INDIA 2018

ファイナルレポート

国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車両専門見本市

2018年12月11日～14日

インド・HUDA Ground Gurgaon

2018年12月20日

北インドの市場ムードを反映

bauma CONEXPO INDIA 2018 新記録を打ち立てる

Summary

- 出展社数 26カ国から700社
- 来場者数 39,173人(20%増)
- 展示スペース 195,000 m²(30%増)

Facts & Data

会 期	2018年12月11日(火)～14日(金) 10時～18時 (最終日のみ17時まで)
会 場	インド・HUDA Ground Gurgaon
主 催	bC Expo India Private Ltd. Messe Muenchen - メッセ・ミュンヘン AEM - 米国機器製造業協会
共 催	BAI - インド建設業協会
規 模	195,000 m ² (2016年:150,000 m ²)
出 展 社 数	26ヶ国から700社(2016年:30カ国から647社)
来 場 者 数	39,173人(2016年:60カ国から32,644人)
主な出展製品	建設機械、建設車両、リフト、コンベヤー、建設機器・工具、特別システム、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、建設現場施設、原料抽出・鉱業機械、原料処理、材料調整技術、建材用セメント・石灰・石膏製造、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材製造機械・システム、アスファルト製造機械・システム、予混合ドライモルタル・漆喰・スクリード製造機械・システム、石灰砂岩・発電所残渣使用建材機械・システム、石膏・石膏ボード・その他装置・付属品製造機械・システム、建材輸送、包装、駆動・流体技術、発電ユニット、付属品、予備・部品、サービス、検査、測定、制御、コントロールシステム技術、通信、ナビゲーション、作業安全 など
出展日本企業 (現法出展など含む)	ウエダ産業(株)、(株)クボタ、コベルコクレーン(株)、(株)小松製作所、双日(株)、トヨタ工機(株)、ニッタ(株)、日東工器(株)、日立工機(株)、古河ロックドリル(株)、本田技研工業(株)、三菱重工業(株) ほか

第5回目の開催となった bauma CONEXPO INDIA 2018 では、あらゆる分野で成長ぶりが伺えた。12月11日から14日まで、26か国から700社が自社の建設用器機や製品、そして核心的な技術を紹介した。39,173人の主要業界関係者がデリー・グルガオンの HUDA Ground に集結した。インドの建設機器市場が活気づいているように、bauma CONEXPO INDIA も好調だ。それは、輸送部門およびインフラストラクチャーの先導のおかげである。

BC Expo India の CEO であるブッピンダー・シンは「bauma CONEXPO INDIA 2018 が大成功を収めたことを発表できることは光栄であり、とても嬉しい。あらゆる分野で成長が伺えた。強力なパートナーである iCEMA (インド建設機械工業会) と協力して、この市場に、当業界の製品を紹介するための素晴らしいプラットフォームを用意した。このパートナーシップは、我々が成功を収めるうえで不可欠なものであり、おかげでインドの建設機械業界のニーズに、より密接に応えることができた。インド人であり、国際人である私には、これは専門レベルのコラボレーションというだけでなく、私自身にとってとても大切なことでもある」と述べている。

iCEMA 代表 Arvind Garg 氏は「iCEMA は今回初めて bauma CONEXPO INDIA にパートナーとして加わった。我々70人全員が、屋内または屋外の展示スペースで、bauma CONEXPO INDIA に参加している。bauma は、我々の大切な顧客と、特にインド北部の顧客と我々を結び付ける優れた見本市であり、最良のプラットフォームである。そして、この場で顧客と直接商談したり、我々の製品やソリューションを紹介したりすることができる絶好の機会となっている。bauma CONEXPO INDIA とのパートナーシップは、我々と顧客の両者に価値をもたらす関係へと成長する重要な機会を持ち合わせていると考える。bauma CONEXPO INDIA のあらゆる成功を祈っている」と述べた。

あらゆる分野での成長

bauma CONEXPO INDIA には、39,173人の来場を記録した。この人数は2016年比20%増である。共同主催者の BAI (インド建設業協会) 会長 Rtn. Er. A. Puhazhendi 氏は「インド全土の会員企業にとって、この見本市は最新の業界動向と新技術に関する情報が得られる『参加必須』のイベントである」と強調している。

インドからの来場者以外にも、バングラデシュ、ブータン、スリランカ、そのほかこの地域の国々から、バイヤー代表団を受け入れた。インド亜大陸は建設業界でビジネスを行うのに有益な場所となっている。主要なインフラストラクチャープロジェクト、好調な輸送部門、および都市開発は、市場を牽引する原動力として大きな意味を成している。2016年比30%増の展示スペースはこの業界の勢いを反映している。インド JCB 社長兼 CEO の Vipin Sondhi 氏はこの見本市に満足し、「今回の参加で4回目となる。この見本市への参加は成功であった。おかげでたくさんのビジネスパートナーや今後顧客となり得るクライアントと会うことができた。この見本市の飛躍的な成長を見てきて、次の開催への参加も楽しみしている」と語った。

2025年までに、インドは世界の建設業界において3番目に大きい市場となると予想されている。その成長は主に大規模なインフラストラクチャープロジェクトによるものである。アナリストによると、今後9年間で、年平均6.2%の実質成長率が期待されている。見通しでは、ブルドーザー、バックホーローダー、油圧ショベルは、今後5年間、大幅な売上増が見込まれている。

業界の主要企業

見本市には、再度次のような有名企業が出展した。ACE、Ajax Fiori Engineering、Case、Caterpillar、Doosan Bobcat、JCB、Kobelco、L&T、Liugong、PERI、Putzmeister、Sany、Schwing Stetter、Volvo、Wirtgen、Zoomlion 等々。初めて出展した会社は、インドの製造業者 Tata Hitachi や Escorts、そしてドイツ企業の Kaeser Kompressoren であった。

Kaeser グローバルセールスプロダクトマネージャーの Marco Angermueller 氏は「弊社は世界中で開催される全 bauma 見本市に出展をしている。今回の見本市では、顧客からたくさんの問い合わせを受けたり、インド市場について知ることができたりなど、とても有益だった」と、締めくくった。

最新「Buyer Seller」プログラムの開催

今回初めて、bauma CONEXPO INDIA は、来場者に将来的なビジネスパートナーとのネットワーク構築の機会となるよう、Buyer Seller フォーラムを開催した。この新たな取組みは成功したと言えよう。技術提供者とバイヤーとの間で 3,023 の打ち合わせが開催された。

UltraTech 社の副社長 Shashi Gaggar 氏は、「主催者が、弊社に、たくさんの売り手を紹介してくれたことや有意義な議論ができるよう手配してくれたことに、bauma CONEXPO INDIA の常連参加者として感謝したい。この Buyer Seller フォーラムは、売り手・買い手間のビジネスの促進に有益であり、長期的には、このようなタイプの見本市の本質を高めることになるであろう」と、熱く語った。

次回見本市への前向きな展望

BC Expo India の CEO であるシンは、既に次の開催を心待ちにし、「今後の更なる成長のために、弊社は業界とより緊密に連携していく所存である」と語った。

次回の bauma CONEXPO INDIA は、2020 年デリーにて開催される。

詳細情報と最新写真は、専用ホームページ(www.bcindia.com)で入手できる。

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)